

ロサンゼルス / Sake & 日本のアルコール飲料 売り場レポート (2014年)



LA / Sake & Japanese alcoholic bev. Report 2014 by Yuki Olsen

1. 日系マーケット

ロサンゼルス南、トーランス市にある日系のスーパーマーケット、Nijiya (ニジヤ) MarketとMarukai (マルカイ) Marketを観察しました。ニジヤはカリフォルニア中心に13店舗、マルカイも同じくカリフォルニア中心に11店舗があるそうです。



サケ：

- さすがに種類もサイズも豊富。日本から輸入されるもの、アメリカで醸造しているもの、両方とも数多くあります。「花」(右上の写真)というのは宝酒造USAのフルーツフレーバーのサケ。
- 現地系マーケットにはあまりなくて日系マーケットにあるものは、紙パック、缶入り、カップのサケです。また、化粧箱入りや日本の雰囲気や高級さを醸し出すような和紙でラッピングされた壺も多く見られます。

1. 日系マーケット



焼酎・ハードリカー：

- 日系マーケットの最大の特徴は、現地系マーケットではあまり見ない「焼酎」が揃えてあることです。サケに比べれば少ないですが、それでも50種類くらい。私がLAに住み始めた20年前に比べるとずいぶん増えています。
- Jpopというすでにミックスされた燗入り酎ハイ（宝酒造USA、矢印）もあります。
- 一方、意外と少ないのがウィスキー。これは、後述するBevMo!やTotal Wineのような現地系酒類専門店の方が多く置いている感じがしました。



日本ビール：

- 日系でも、現地系でも、アサヒスーパードライ、キリン一番搾り、サッポロプレミアムの燗入りが主流。日系ではそれに加え、缶の24本入りケースが多く見られました。こちらで販売されている日本のビールはアメリカで醸造されているものがほとんどで、酒税が低いこともあり本場日本より安く販売されています。
- アメリカではビールは小壺で売られているのが普通で、大抵の人は“six pack”と呼ばれる6本入りのケースで買って行きます。映画などで見るように小壺をそのまま口につけて飲むので、壺は缶と同じくらい気軽に扱われているようです。また、缶ビールにはどうしても安っぽいイメージがあること、車で大量の買い物をするアメリカでは日本のように缶の軽さにこだわる必要がないことなどもあって、アメリカでは日本ほど缶ビールの人気はないようです。

2. 一般大型チェーンスーパーマーケット

一般的な食品を安価で売っている全米規模の大型チェーンスーパーには、ヴォンズ(Vons)、ラルフス(Ralphs)、アルバートソン(Albertson)などがあります。今回はラルフス(Ralphs)を観察。



ワイン・ビール・ハードリカー：

- 同じチェーン店にしてもロケーション次第で置いてある食品や値段が違います。メキシコ人が多い地域では当然テキーラやビールが多くワインは少ない、高級住宅地と低所得地域では置いてあるパンの種類も値段も違う、といった具合です。
- 一般的スーパーとはいえ、最近では驚くほどの種類のワイン、ビール、ハードリカーを揃えています。ワインの陳列棚にはカリフォルニアワインをはじめ、オレゴン、ワシントンなどの西海岸の国産ワインや、ヨーロッパ、南アメリカ、オーストラリアやニュージーランドなど世界各地からのワインが、数えきれないくらいの種類で置かれています。
- ビールにしても、バドワイザーやクアーズといった安価な定番ビールから、ドイツ、メキシコ、日本、中国、ベルギーなどからの輸入ビール、そしてアメリカのクラフトビールがずらりと揃っています。
- クラフトビール（地ビール）に関しては、私が地ビールビジネスに足を入れた20年前には、やっとシエラネバダやサミュエルアダムスが一般的に注目されはじめたくらいでしたから、現在陳列コーナーの1/4くらいを10~20種類のクラフトビールが占めているのを見ると、ビール文化の変化が伺われるようです。写真はちょっとわかりにくいのですが、左側がビール、右側がワインです。



- カクテル用のVodka, Tequila, Rumなども多く、それらを使ったカクテル用のミックス類も同等に数多く揃えてあります。
- ウィスキーやブランデー、バーボンなどになると、盗難防止用に壇口に黒いプロテクターがかぶせてある（左の写真）か、鍵のかかったガラスケースにおかれていることが多く、店員を通さないとキャップが開けられないようになっています。

2. 一般大型チェーンスーパーマーケット



サケ：

- サケはもちろん置いてありますが、ビール、ワイン、ウォッカなどに比べれば種類も数も極端に少なく、陳列棚の一番下とか一番端の、探さなければわからないようなところにちょこりと置いてある程度です。
- 月桂冠、松竹梅、大関、八重垣の1.5L壺と750ml壺など、それにTykeというシャンプー容器のようなボトルに入ったサケ（矢印）がありました。これらはすべてアメリカ製、あるいはアメリカのブランドです。梅酒も必ず置いてあります。



日本ビール：

- ビールはだいたい、アサヒスーパードライ（この写真ではちょうど品切れのようですが）、キリン一番搾り、サッポロプレミアムビールの3種が置かれているようです。価格も他の輸入ビールとあまり変わりません。
- 日本ではアサヒやキリンのシェアが高いそうですが、アメリカではサッポロが日本ビールのトップシェアです。
- サケよりビールの方が若干目につくところに置かれているように思います。

3A. スペシャルティマーケット

「ストアブランド (PB)」志向

前ページで紹介したスーパーマーケットが一般的な食品を安価で売っているのに対し、スペシャルティマーケットは多少値段は高くとも普通のスーパーマーケットでは売っていないようなものを取り扱っている店です。まず、ストアブランド(日本で言うPB)や輸入食品に特化しているトレーダージョーズ(Trader Joe's)を観察。



サケ・日本ビール:

- なんと“Trader Joe San” (「トレーダージョーさん」)と名付けられたオリジナルのストアブランドのサケとスパークリング・サケを発見。ラベルのデザインもTJらしく面白い。日本製だそうです。一緒に月桂冠 (アメリカ製) と梅酒が置いてありました。陳列はやはり一番下でした。
- 店内の壁いっばいに地元を表現する絵が描かれていて、地域との密着性をアピールしていますし、上記のようなストアブランドのネーミングといい、全体的にコミカルでユーモラスな雰囲気があり、ショッピングが楽しくなるように工夫されています。
- ビールはアサヒスーパードライ (缶) とサッポロプレミアム (缶) がありました。左端のサッポロの缶は、側面が僅かにカーブしている日本にないタイプ。



3B. スペシャルティマーケット 「オーガニック」志向

オーガニックやヘルス食品に特化しているホールフーズマーケット (Whole Foods Market) を観察。



サケ・日本地ビール：

- サケは2箇所に分けて販売されていました。1箇所目は冷蔵ショーケース。「Chilled Bubbles、Wine、Sake」という表示があつて、サケがあることを表示しています。
- 入っていたのは、アメリカ製では、月桂冠、サケワン社の「Moonstone」、日本製では白鶴生酒、月桂冠のスパークリングなど。



- 2箇所目は、アジア食のデリと寿司売り場のすぐ下の棚。寿司とのセット買いのお客狙いでしょう。日本酒のコーナーがあり、日系マーケットほどではないにせよ、一般スーパーよりはるかに多い種類がありました。日本銘柄より、「Tyku」（矢印）が目立っていました。
- また、日本のクラフトビール（「コエドブルワリー」と「常陸野ネストビール」）が置いてある（矢印）のも見つけました。



3C. スペシャルティマーケット 「ハイエンド」志向

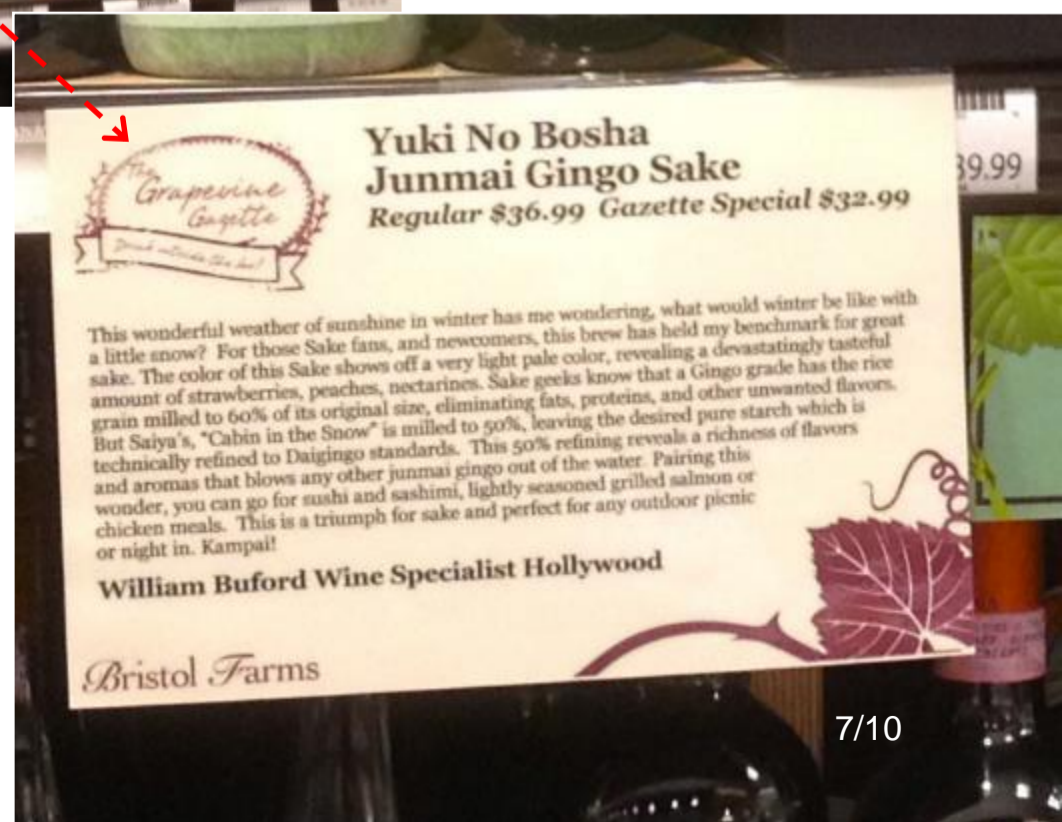
鮮度や味では間違いないハイエンド食品に特化している**ブリストルファームズ(Bristol Farms)**に行ってみました。値段も他と比べるとすべて高めですが、果物から肉からデリから酒類まで新鮮さや味の心配は無用です。



サケ：

- ブリストルファームズは店員の知識も高く、酒類売り場にもスペシャリストがいて、料理や予算に合わせてワインなどを選んでくれます。
- サケの棚は一番上。置いてある銘柄は、日本製では「李白」「雪の茅舎」「一人娘」「月桂冠」など、アメリカ製では「月桂冠」、「桃川」（サケワン）など。

- 「雪の茅舎・純米吟醸」の評価説明。こういうものがついていると、やはり自然に選ばれるように思えます。日本酒に慣れない人にこういう情報提供をするのはとても大切だし、販促に効果的だと思います。
- なお、ある程度所得のある顧客層であるためか、どのスペシャルティマーケットにもバドワイザーのような安いビールや24本入りのケースなどは見当たりませんでした。



4A. 大型ビバレッジ専門店 「BevMo!」

もう一つ、大型ビバレッジ専門店BevMo!を訪問。
BevMo!というのはBeverages & more!の略。1994年創業
で、現在西海岸で160店舗を展開しているそうです。



店長さんへのインタビュー：

- Torrance店の店長、Chris Piscopoさんから話を聞きました。
- 「BevMo!ではSakeは60~70種類ほどを置いていて、小壺(300~375ml)がよく売れている。日本ビールは12種類程度で缶も壺も同じくらいの割合。焼酎は3~4種だがそれほど売れているというわけではない。急成長しているのがウイスキーで、「山崎」は仕入れが追いつかないほど。」

サケ・焼酎：

- SAKE専用の棚があって、日本製、アメリカ製の両方をおいています。黄色のラベル「蒲原」(下越酒造)が良く目立ちますね。
- アメリカの店舗で初めて見た焼酎。「よかいち」と「とんぼ」(サケワンの製品)。

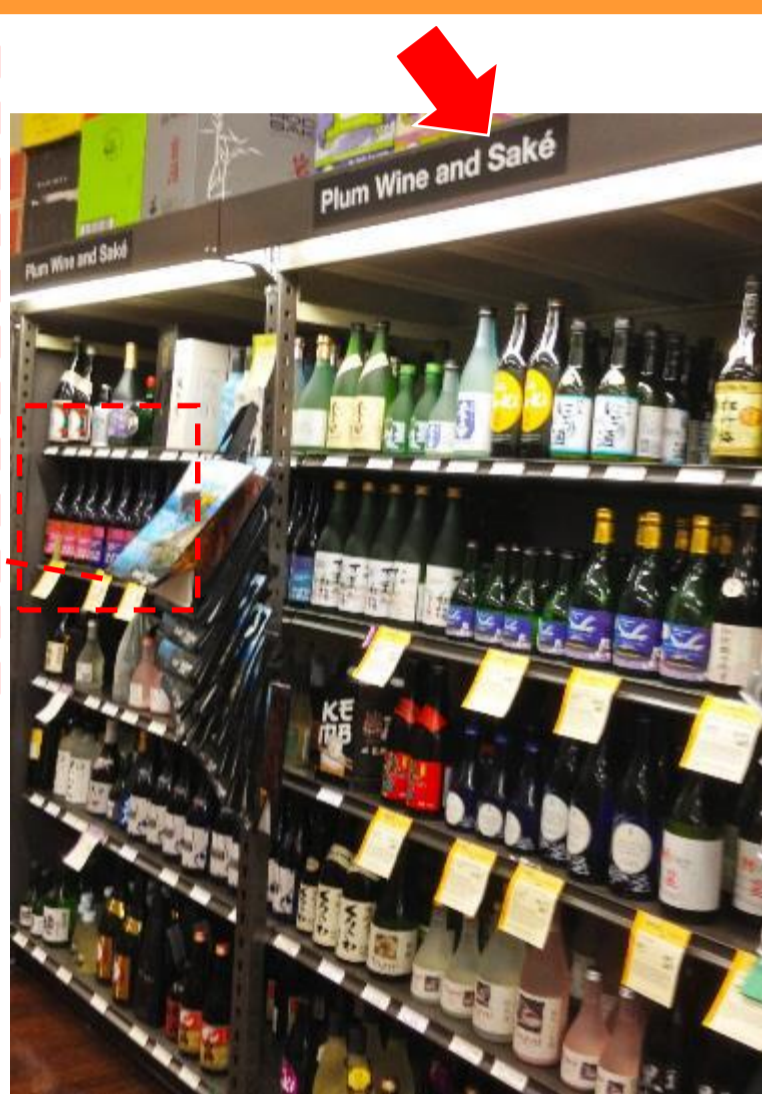


日本ビール・日本ウイスキー：

- 日本ビールはアサヒスーパードライ、サッポロプレミアム、麒麟一番搾りがメイン、地ビールも少々。
- ウイスキーはサントリーとニッカ。ガラスショーウィンドーの中。

4B. 大型ビバレッジ専門店 「Total Wine」

米国でも例に漏れず個人経営の酒店（リカーストア）は減少し、大型ビバレッジ専門店が台頭してきています。トータルワイン (Total Wine & More)は、ウェブサイトの情報からすると15州にわたって101店舗で営業展開。典型的な店舗でワイン8000種、ビール2500種、リカー3000種を扱っているとのこと。



サケ・梅酒：

- 「Plum Wine & Sake」の棚が2コマ。サケは日系マーケットについて種類も数も豊富。日本製、アメリカ製の両方を販売。
- 左上写真：カラフルな「Mura」というのは、サケワンのフルーツフレーバーサケ。その上の段にちらりと見えている「岩酒」というのもアメリカブランドのサケです。
- 梅酒は、左から月桂冠、キッコーマン、白鶴、宝酒造。



日本ビール・日本ウイスキー：

- ビールはサッポロ、アサヒ、麒麟の3種に加え、地ビールが伊勢角屋、常陸野ネストビール、川場ビール。日本の地ビールの値段は安いワインより高いので、よほど好きな人でなければなかなか手が出ないかと思いました。
- ウイスキーの山崎と竹鶴があります。
- 店舗では焼酎を見つけることはできませんでしたが、オンラインで見ると2種類売っているようです



5. ドラッグストア

CVS pharmacyは、ドラッグストアで最大手。ニューヨーク証券取引所に上場している会社です。ドラッグストアとは、まず薬局があり、処方箋なしで売れる薬類がメインに売られているところ。それに加え化粧品、日用品、菓子類、アルコールを含む飲料類、生鮮以外の食品、家庭用品などが売られていますが、どの商品も安価で、とりあえず必要というような時に活躍するストアです。



サケ：

- まさかここにはないだろうと思って覗いてみたドラッグストア。驚いたことに、月桂冠と松竹梅、そしてTykeがありました。
- サケがあるのに日本ビールはありません。バドワイザーなどと比べて高価ですし、売り場面積の制限なども考慮すれば納得できます。

全般+エクストラ写真：

- 今回調査した範囲で、最も置いてあったサケは、月桂冠（1.5L壺か750ml壺）とTyke（シャンプープール風のサケ）。次に多かったのが松竹梅、大関、それと白鶴「生」の小壺、そして梅酒です。
- 日本から輸入されたプレミアムなサケ（日本酒）はやはり、日系マーケットに多くありました。米国のマーケットは現地で醸造したもの、ラベルが英語だけのものの割合がぐっと増えます。
- 右端の写真：Sake Bombというサケとビールとお箸のキット、何に使うのかはよくわからない。



レポーターより：

- 今回観察した地域は、ロサンゼルス国際空港から南の海岸沿いで、大まかに「サウスベイ」と言われる地域。昔から日系コミュニティが栄えていたところで、特にトランス市やその隣のガーデナ市には、多くの大手日本企業のアメリカ本社、様々な日系企業が軒を並べていて、日本人、日系人も多く住んでいます。
- この観察レポートはそういう地域で行っていますので、米国レベルではなく、あくまでもロサンゼルスの日系人の多い地域の話だと見てください。アメリカは国土同様、文化、嗜好、地域性の幅が非常に広い国ですので、何事も一般化しないように気をつけていただきたいと思います。